

草津メロンの一週間。

日本有数の糖度を誇る草津メロンを使用したスイーツや和菓子などが楽しめる一週間。対象メニューの注文で、草津メロンが当たるプレゼントキャンペーンに参加できます。

🕒 6月27日(土)～7月5日(日) 所 参加各店(市内飲食店)

📍 草津ブランド推進協議会(4階、商工観光労政課内)

☎561-2351、FAX561-2486



✂キリトリ

水生植物公園
みずの森

〒525-0001
下物町1091
☎568-2332
FAX568-0955

歴史ギャラリー

本陣職の特権を示す「黒印状」

No.223

草津宿本陣には「黒印状」が計6通、大切に保管されています。これはそのうちの1通で、寛政五(1793)年、膳所藩城主・本多康完から、屋敷高一石二斗七升七合七勺の免税が認められたことを示す黒印状です。

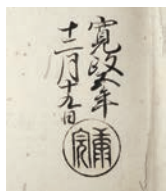
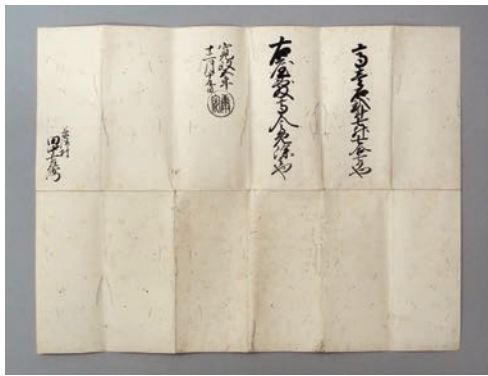
黒印状とは、大名や旗本などの黒墨の印判が押された文書で、戦国時代から江戸時代にかけて重要な役割を果たした公文書です。印判は花押の代替として生まれ、江戸時代には朱印を押した朱印状の方が格式高く、將軍など高位の武家が用い、諸大名は黒印を用いました。草津宿本陣に残る黒印状には、扶持(本陣職の給料)に関する事、代官役料(代官役の給料)に関する事、屋敷高にかかる租税の免除に関する事などが記されています。草津宿は本来、道中奉行の管轄ですが、実質は膳所藩の管理下にあったことから、黒印状は膳所藩主から下されました。

本陣は主要街道に面して門構えをもち、白洲・玄関を備え、上段の間は書院造りで、宿内でも特別立派なものでした。利用は公家、勅使や大名などに限られ、休泊した公家や大名からは利用に際し、謝礼が渡されました。しかし、宿泊料金の取り決めはなかったた

め、謝礼が十分とはいえない場合もあつたようです。一方で、主人には名字帯刀が許されるなど、大変名譽なことに受け止められました。さらに、扶持が与えられ、屋敷にかかる税を免除されるなどの優遇も受けています。

それらを証明する藩主からの公文書である「黒印状」は、本陣職を拝命した家の家格を示す大切な文書であり、本陣を守る矜持ともなる物でした。

この資料は、6月28日(日)まで、草津宿街道交流館での展示「草津宿と本陣」で出陳します。ぜひ、ご覧ください。



▲「黒印(部分)」 ▲藩主本多康完黒印状(草津宿本陣蔵)

📍 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津
(FM78.5MHz)
「声の広報」



スマートフォン用アプリ
●マチイロ
●SideBooks(ちいき本棚)

市公式ソーシャルメディア



草津市メール
配信サービス

市の情報をメールで
配信するサービス



くさつチャンネル

動画や、
びわ湖放送
(BBC)の
草津スケツ
チも!



市の花
アオバナ



市の木
キンモクセイ

4月30日現在
(対前月比)

- 人口 141,704(+214)
- 世帯数 66,448世帯(+314)
- 男 70,960人(+145)
- 女 70,744人(+69)